

平成 28 年 3 月 25 日

広島県、広島市、広島商工会議所
サッカースタジアム 作業部会 御中

(公財)広島県サッカー協会
専務理事 古田 篤良

サッカースタジアムの早期建設に向けて

日頃は当協会事業へのご理解とご協力に感謝申し上げます。

先般 3 月 4 日付で、サッカースタジアムの建設推進に関する当協会の方針をご通知いたしました。3 月 19 日開催の臨時評議員会での議論を踏まえた当協会の見解を以下の通りご報告させていただきます。

【 基本方針 】

1. アクセス性の良い場所
2. 臨場感のあるスタジアム設計
3. 広島と平和を発信できるスタジアム
4. 街づくりの活性化につなげる
5. 早期建設の実現

※スタジアム早期建設をお願いする立場であり、場所の決定までの間、必要に応じてサッカーに関する情報提供での協力及び進言を行います。

【 場所の選定について 】

- (1) 県内外さらには国内外から多くの集客が見込め、サッカー観戦前後の回遊においても市内中心部への期待感が高く、スタジアム検討協議会にて実施した市民へのアンケート調査の「アクセス重視が圧倒的多数であった」結果も重視すべきである。
- (2) スタジアムの収容人数について、建設コストを考慮すると必ずしも「3 万人規模」に拘る必要は無く、費用対効果の検討を行なうべきである。
- (3) スタジアムの主たる利用者であり、その立地が球団経営上重大な影響を及ぼすとするサンフレッチェ広島の意向は重要である。
- (4) 港湾に隣接する地域への集客施設の建設は、物流機能に重大な支障を及ぼすとする事業者の懸念が解消されるべきである。

当協会としては、これらの意見はスタジアム建設場所選定にあたっての重要な判断要素であると考えますので、旧市民球場跡地へのスタジアム建設可能性について優先的かつ前向きな検討をお願いいたします。さらなる協議を重ねていただき、広島の宝となるサッカースタジアムの早期建設に向けての最善策をまとめていただくようお願いいたします。

以上